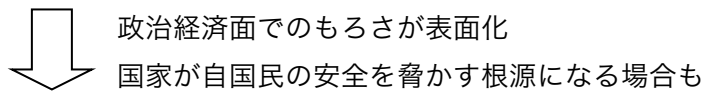


【今回の一冊】人間の安全保障委員会(2003)  
『安全保障の今日的課題』朝日新聞社

1. いまこそ「人間の安全保障」(pp.9-46)

●「国家の安全保障」

- ・国民を守る権限と手段は国家が独占
- ・国家権力と国家の安全保障を確保し拡大することで、秩序と平和を維持



●「人間の安全保障」

「人間の生にとってかけがえのない中枢部分を守り、すべての人の自由と可能性を実現すること」人間の安全保障委員会

<目標>

- ・基本的自由を擁護し、広範かつ深刻な脅威や状況から人間を守る
- ・個人や社会が潜在能力を伸ばし、情報に基づいた選択をし、自らのために行動する

<特徴>

◆個人や社会に焦点 ◆抑圧や困窮をも含む人々の安全への脅威 ◆多様な担い手 ◆能力強化

- ・「欠乏からの自由」「恐怖からの自由」⇒人間が教授すべき真の自由を拡大

→保護：国家や国際機関、NGOや民間団体などが、人々自らの力では対処できない原因による危険から守る

→能力強化：厳しい状況の下でも人々がその活力を発揮し、社会としての潜在能力までをも開花

2. 暴力を伴う紛争下の人々 (pp.47-80)

<背景>

- ・土地や資源の係争、急激な政治的・経済的变化、不平等拡大、非合法活動増加、脆弱な政治体制、歴史的遺産
- ・グローバル化→国際組織犯罪の増加、テロ組織の性質の変化

暴力を伴う内戦→国家と国家体制の崩壊や貧困

<取り組み>

- ・人々を保護する責任を分担することを主眼とした、新しい多国間の戦略が必要

◆安全保障の課題のなかに「人間の安全保障」を位置づけ

◆人道活動の強化 ◆人権と人道法の尊重 ◆武装解除の促進 ◆紛争予防と市民権の尊重

3. 移動する人々 (pp.81-108)

<背景>

- ・制限的移民政策→人身取引や密入国の仲介が急増→人々の「人間の安全保障」を損なう危険性
- ・人の移動と公衆衛生：HIV/エイズ、その他の感染症の拡大
- ・貧困削減戦略→短・中期的な人の移動の増加

⇒政治的市民的問題、治安・経済・社会的側面などさまざま

<取り組み>

- ・人が移動する現象を「人間の安全保障」の観点で包括的に捉える
- ・人の移動を一定の秩序の下で管理する国際的体制の形成
- ◆安全な移動のための措置 ◆移動する人々の権利 ◆義務における国際的・地域的規範の形成
- ◆人身取引や密入国への戦略策定 ◆人権侵害からの人々の保護 ◆制度上の枠組み形成

#### 4. 暴力を伴う紛争からの回復 (pp.109-136)

紛争からの回復過程にある国々の支援…開発に着手する基礎、「人間の安全保障」の基礎の形成

<背景>

- ・停戦合意後、小康状態の後に紛争再発 Ex. ブルンジ、リベリア
- ・国際社会の関与が部分的 Ex. アンゴラ、リベリア、ソマリア
- ・国家再建のための国際的努力の不足 Ex. アルメニア、アゼルバイジャン

⇒暴力を伴う紛争からの回復は直線的な過程をたどらない

<取り組み>

- ・人道支援機関や開発期間、国際金融機関間での緊密な協力
- ・紛争後の状況の下で政治的、社会的、経済的自由への人々の権利を再確認する必要性  
⇒社会資本を確立し、地域社会との和解と共存を育み、統治を回復することで、人々と地域社会の能力を強化
- ◆治安の確立 ◆緊急の人道的ニーズへの対応 ◆復興と再建への着手 ◆和解と共存の強調
- ◆統合と能力強化の推進

#### 5. 経済的な安全と安定——さまざまな機会から選択する力 (pp.137-178)

<背景>

- 経済的な安全と安定が欠如している状況
- ・経済的資源が不十分 ・経済の流れが不安定 ・資産の損失
- 危機的状況
- ・財政危機・債務危機・交易条件の危機を含む経済危機 ・自然災害 ・紛争

⇒個人や世帯が所得を得る能力、これを管理する能力が改善してももたらされる「人間の安全保障」は部分的  
“生きていくための自由”の必要性

<取り組み>

- ・極度の貧困状態にある人々にも行き渡るような成長を促進
- ・持続可能な生活と人間らしい雇用の実現に向け、支援
- ・経済危機や自然災害を予防し、その影響を抑制
- ・いかなる状況でも社会的保護を提供

#### 6. 「人間の安全保障」のための保健衛生とその向上 (pp.179-212)

健康であること：客観的な身体の健全さと主観的な精神衛生の安定及び将来への自信  
疾病・障害・回避可能な死…「人間の安全保障」にとって「広範かつ深刻な脅威」

<背景>

- ・保健衛生は、国家間でも国内でも人々の間に大きな格差
  - ・HIV/エイズと開発の遅れによる平均寿命の低さ
  - ・民主化や市場経済への転換期にある国々における所得格差と社会的不平等の悪化
  - ・長期にわたる紛争や戦争からの回復の渦中にある国での死亡率の高さや横ばいの状況
- ⇒地球規模の感染症、貧困に関連した脅威、暴力と危機

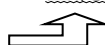
<取り組み>

- ◆平和と衡平な開発の促進
- ◆知識の創造と利用 ・健康を確保するための知的財産 とくに危険な脅威を抑制するための情報
- ◆社会活動の活発化 ・地域社会を基盤とする保健衛生 ・地球規模での健康の確保

## 7. 「人間の安全保障」を支える知識と技能および価値観 (pp.213-242)

<背景>

識字率の地域的、集団的格差…「普遍的な初等教育」が存在していない

- 能力を強化し相互に尊重することが重要、特に女兒に重点を置いた基礎教育が肝心
- ・読み書き能力は生活の質を改善、人々の安全に直接的な影響 
- ・教育の普及は個人、地域社会、国家の経済状態を改善

<取り組み>

- ◆国際社会の基礎教育に対する取り組みを強化
  - ・国際的な支援と地域における連携 ・万人のための教育に対する障壁
- ◆学校で学生・児童の「人間の安全保障」を守る
- ◆人々が行動を起こし、民主的活動に参画できるような能力を強化
- ◆相互に尊重し合うことを教える

## 8. 人々の安全を守るための方途 (pp.243-270)

「人間の安全保障」

- ・ ・ ・ 既存の取り組みの焦点をより人間と社会に向けるとともに、政策と制度自体の強化改善を目指す

<グローバル・イニシアティブ>

- ・「人間の安全保障」を最優先事項とする ・紛争を予防し人権と開発を推進
- ・人々や社会の保護と脳力強化を通じ「人間の安全保障」の文化を涵養 ・民主主義の原則を深め、実践

<結論>

- より幅広い活動のなかで、より包括的な取り組みを行い、それら一つひとつの活動を支える糸を紡ぎ合わせ、より統合された行動を求める